

発表!

2023.8.10調べ ※和書のみ

2023年度 分類別貸出ランキング👑

分類	タイトル	著者名	請求記号
0 総記	動物裁判：西欧中世・正義のコスモス（講談社現代新書：1019）	池上俊一	080/K
1 哲学	嫌われる勇氣（自己啓発の源流「アドラー」の教え：[1]）	岸見一郎，古賀史健著	146.1/Ki 58
	マインドセット：「やればできる！」の研究	キャロル・S・ドゥエック著／今西康子訳	159/D 99
2 歴史	1945年のクリスマス：日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝：新装版	ベアテ・シロタ・ゴードン著／平岡磨紀子構成・文	289.3/G 67
3 社会	仕事（ワーキング）！	スタッス・ターケル著／中山容他訳	366.29/Te 72
4 自然	生きものは不思議：最前線に立つ研究者15人の白熱！講義（14歳の世渡り術）	河出書房新社編／池田謙〔ほか〕著	460/Ka 92
5 技術	イラストでときめく片づけの魔法	近藤麻理恵	597.5/Ko 73
6 産業	商業・流通とマーケティング	中原龍輝	670/N 33
	ユニクロ世界一をつかむ経営（日経ビジネス人文庫：752，[つ1-2]）	月泉博	673.7/Ts 62
7 芸術	ゴールデンカムイ 5（ヤングジャンプ・コミックス）	野田サトル	726.1/N 92
8 言語	英語史で解さばくす英語の誤解：納得して英語を学ぶために（125ライブラリー：005）	堀田隆一	830.2/H 96
9 文学	告白（双葉文庫：み-21-01）	湊かなえ	913.6/Mi 39

・リレーコラム・

先日なにげなく予約した旅先のホテルで、「ライブラリーカフェ」に遭遇しました。近年、読書のできる「ブックホテル」が話題になっていたのは知っていましたが、実際に体験したのは初めてです。ドリンク無料でWi-Fi完備。「選書家」がセレクトしたこだわりの本や写真集が、どこに座っても目に入ります。図書館ほど大きくなく、本屋さんとも違う、普段なら見過ごしそうだけど、思わず手にとってみたくなる本が並ぶ、ほどよい空間は、本好きの私にとって、大変居心地がよく、存分に癒されたのでした。何より、どこに行こうかと無計画に訪れた地で、手に取った本から行き先をゲットし、とてもお得な気分まで味わわせてもらったのです。

本との出会いは思わぬ幸運をもたらしてくれます。ここ広島修道大学図書館でも、職員やピア・サポーターたちが心をこめてセレクトした本が展示されています。何を讀もうかと迷っているみなさんにぜひおすすめです！素敵な本との出会いがありますように。

なごし
(名越)

・編集後記・

多くの方々からご協力をいただき、第16号を無事発行することができました。心から感謝申し上げます。今回は、図書館のお役立ちゾーンと、図書館学生スタッフのお仕事REPORTをご紹介します。みなさんが今号でも「へえ～！ そうなんだ！」と、新たな発見と共に、より図書館に興味を持ち、たくさんの図書との出会いを通して、時空を超えた学びと叡智に繋がっていたら嬉しいです。図書館の扉を開き、91万冊の偉大なる宝庫へと足を踏み入れてください。たくさんの人と図書との素晴らしい出会いが、みなさんの学生生活をより豊かなものにしていくことを願っています。

たつぎ
(辰崎)

図書館の開館時間は
ホームページでご確認ください。

発行・編集：広島修道大学図書館 発行日：2023年10月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
TEL：082-830-1112 FAX：082-830-1964
URL：https://library.shudo-u.ac.jp/
E-mail：toshou@js.shudo-u.ac.jp

次号は
2024年
4月1日
発行予定です

ここから
図書館の
ホームページへ
アクセス
できます



あなたと図書館をつなぐ情報誌

BOOKMARK

第16号

2023/10/1

[ブックマーク] TAKE FREE



特集1

2 調べものならここ！ 図書館のお役立ちゾーン

特集2

4 図書館学生スタッフ お仕事REPORT

連載

6 Kyouは何しに図書館へ？

8 この本にブックマーク！

10 イベントブックマーク

12 教員エッセイ…矢野 泉

14 職員エッセイ…櫻井 祐花

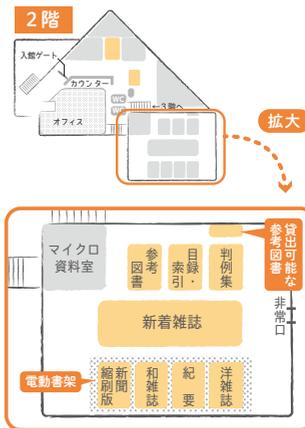
16 ランキング／リレーコラム／編集後記

特集1

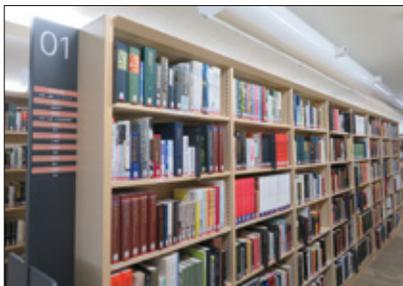
調べものなら
ここ!

図書館のお役立ちゾーン

本学図書館では、利用者の多種多様なニーズに応えられるよう、幅広い種類の資料を所蔵しています。今号では、図書館2階の奥にある、魅力的な資料の数々をご紹介します。
勉強のための調べ物から専門的な情報、時事的な情報の収集まで、みなさんの学びを深め、キャンパスライフがより豊かになること間違いなしの空間です!

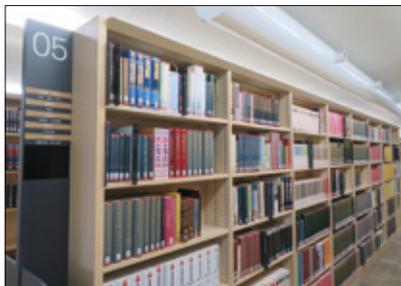


参考図書



辞書や事典、専門書をお探しの方にはこちらがオススメ。
調べ学習にはもってこいです!

目録・索引



ここはまさに、資料のカタログコーナー。特定の人名やキーワードからピピッと来る1冊を見つけられるかも!?

判例集



裁判所の判例集や判例解説等はここに。判例について学ぶならここを利用しない手はありません!

貸出可能な参考図書



この特集で紹介する資料は貸出ができないため、館内での閲覧か、コピーコーナーでの複写が主となります。しかし例外的に、この本棚の参考図書は貸出可能になっているので、辞書等を借りたい場合に、ぜひご利用ください!

新着雑誌



新着の和雑誌・洋雑誌が配架されています。政治や科学といった専門的なジャンルから、映画や料理等の比較的身近なジャンルまで、その種類は実に豊富。
国内外の最新情報はここでチェックしてみましょう!

電動書架・和雑誌



国内で刊行された雑誌のバックナンバーが配架されています。1階書庫にも和雑誌のバックナンバーがありますので、OPACで検索をする際には所在を要チェック!

電動書架・紀要



大学等が発行する雑誌「紀要」に掲載された論文を閲覧したいならここ!
2階電動書架には東京都と広島県に位置する大学等の紀要が、1階書庫にはその他の道府県の紀要が収蔵されています。

電動書架・洋雑誌



外国語の雑誌のバックナンバーが配架されています。書庫にも洋雑誌のバックナンバーがありますので、OPACで所在を確認してください。

電動書架・新聞縮刷版



朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、中国新聞(1966.10~1975.5)の縮刷版を所蔵しています。1ヶ月分が一冊にまとめられていて、時事的な出来事の推移の閲覧や、連載の一气読みにも便利!

図書館アルバイト

空いている時間を有効活用してお仕事をしています♪



特集 2

図書館学生スタッフ お仕事REPORT



図書館では学生スタッフのみなさんが毎日様々なお仕事をしています。その一部をご紹介します!



図書館ピア・サポーター

仲間とともに利用者の方々のために活動中です♪



まずは、ブックポストへGO! 返却された資料を回収します。ブックポストは、図書館2階入口、図書館M2階、教学センター入口の3ヶ所にあります。返却期限内であれば、カウンターまで足を運ばなくても、借りた資料を返却できます。

返却処理の終わった資料を請求記号に従って書架に並べます。本学図書館には約91万冊もの蔵書が! 書庫にもたくさんの資料があります。資料が迷子にならないように慎重に並べていきます…。



夜間や土日は主にカウンターで仕事をしています。資料の返却処理をしたり、研究個室やグループ学習室の利用手続きをしています。カウンターに来られる利用者の方々の問合せに対応することも!



月2回ミーティングを開いて、展示や新しい企画など、活動内容を相談します。ミーティングは、それぞれが意見を出し合って、和気あいあいと進みます。



「この資料はどこにあるの?」「書庫に初めて入るんだけど…」など、みなさんが困った時のお手伝いをしています! 気軽に声をかけてください!



定期的に館内を巡回して、忘れ物や落とし物のチェック、消しカス入れの掃除などをします。みなさん、席を離れる時は貴重品は携行し、図書館で飲食はしないでくださいね!



2階カウンターではInstagramへの投稿や展示の準備などもしています。2階だけではなく、3階サブカウンターやラーニングコモンズにもいますよ。



ピア・サポーター Instagramはコチラ!

「図書館アルバイト」と「図書館ピア・サポーター」の募集説明会は毎年12月頃行います。詳細は図書館ホームページに掲載予定です。興味のある方はぜひご参加ください!お待ちしております!



きょう Kyouは何しに図書館へ?

- Q1 所属学部・学年・ニックネーム
- Q2 何しに図書館へ?
- Q3 図書館で好きな場所は?
- Q4 それはなぜですか?



- A1 商学部 4年 るうちゃん/海ちゃん
- A2 卒業研究の資料探し
- A3 2階の窓際の閲覧席
- A4 外が見られて気分転換になるから



- A1 人文学部 2年 まな
- A2 原爆についての新聞記事を探しに来ました
- A3 英語リーダーズコーナー
- A4 毎日たくさん英語に触れていたいから



- A1 人文学部 1年 129/りん/ことね/すが/めい/みう
- A2 発表のための資料作成に来ました
- A3 フリー PCコーナー
- A4 調べものをしながら課題に取り組めるから



- A1 健康科学部 2年 コウタロー
- A2 学科の専攻科目のレポート作成のため
- A3 2階の閲覧室
- A4 スペースが広いから



- A1 健康科学部 2年 なおやん/こうき/にったつ/ヨッシー
- A2 授業のレポート作成
- A3 ラーニング・コモンズ
- A4 話しながらレポート作成ができるから



- A1 健康科学部 3年 こっちゃん
- A2 部活動までの時間に課題をしに来ました
- A3 3階閲覧室
- A4 景色を見ながら落ち着いて勉強できるから



- A1 経済科学部 法学部 1年 ゆう/かんじ
- A2 教科の課題をするため
- A3 個人研究室、グループ学習室、視聴覚コーナー
- A4 集中して勉強できたり、リラックスできたりするから



- A1 国際コミュニティ学部 1年 とくさん/だいじん/つむ
- A2 もののけ姫 (DVD) を鑑賞するため
- A3 視聴覚コーナー
- A4 映画やアニメがたくさん見られるから



- A1 人文学部 4年 すずは
- A2 卒論のために来ました
- A3 3階の窓際の閲覧席
- A4 集中できるから



- A1 人文学部 コウコウ/国際コミュニティ学部 レンカ/人間環境学部 4年 まほりん/人文学部 3年 もえの
- A2 ポスター展示
- A3 3階閲覧室
- A4 静かで落ち着いて勉強できるから



- A1 法学部 2年 不動
- A2 資料、参考書探し
- A3 3階の量コーナー
- A4 量が好きだから

撮影にご協力いただきました学生のみなさん、ありがとうございました。次回はあなたに突撃インタビュー!

教員が選ぶ 学生のみなさんにおすすめの1冊

今回は、学生のみなさんにおすすめしたい1冊を、7学部の先生方から選んでいただきました。

先生方から、図書を通してみなさんの人生を豊かにするヒントが贈られています。ぜひ手に取って読んでみてくださいね♪

『いやでも楽しめる算数』

清水義範著；西原理恵子
講談社
請求記号：410.4/Sh49



昔、理数系で惨めな思いをした私に、親友が贈ってくれた1冊。ハカセの解説とサイバラの漫画で、算数アレルギーなんて吹き飛ばそう！

商学部
せらかずみ
世良 和美 先生
ご専門はCSR論



『サピエンス全史』 ：文明の構造と人類の幸福』

ユヴァル・ノア・ハラリ著；柴田裕之訳
河出書房新社
請求記号：209/H32



This book follows humanity's incredible journey from ancient beginnings to modern civilizations, and explains how the stories we tell ourselves and each other have shaped our remarkable success as a species.

人文学部
ハース キース
BARRS Keith 先生
ご専門は英語学



『ハーモニー』

伊藤計劃著
早川書房
請求記号：913.6/189



良質なSFは、社会を見る目を養う。生命至上主義のユートピアを舞台に、人間とは、幸福とは何かを問うこの本は、まさにそういう一冊です。

法学部
まえだ 星
前田 星 先生
ご専門は近世ドイツ刑事法史



『アルゴリズム図鑑』 ：絵で見てわかる26のアルゴリズム』

石田保輝、宮崎修一著
翔泳社
請求記号：007.64/172



アルゴリズムとは、計算などの手順。アプリ「アルゴリズム図鑑」をベースに、わかりやすく解説してある図鑑です。

2023年には増補改訂版も出版されています。

経済科学部
わかや なおこ
脇谷 直子 先生
ご専門はソフトウェア



『忘れられた日本人』

宮本常一著
岩波書店
請求記号：080/I-B；岩波文庫；青-164-1



激動の昭和に全国を歩き、歴史には残らない庶民の変わりゆく暮らしを記録し続けた筆者の代表作。きっと新たな視点を得られるはずです。

人間環境学部
しらしし ちひろ
白石 智由 先生
ご専門は地域経済学



『お探し物は図書室まで』

青山美智子著
ポプラ社
請求記号：913.6/A58



この本を手にとって、人生の5つの旅に出てみませんか？
何気ない日常の中で見つけた小さな幸せ…。
毎日が少し輝いて見えるかもしれません。

健康科学部
きむら やすみ
木村 安美 先生
ご専門は公衆栄養学



『哲学思考トレーニング』

伊勢田哲治著
筑摩書房
請求記号：080/C-S；ちくま新書；545



大学での勉強は覚えることではなく考えることです。でも考えるって何？そうしたらこの本を開いてみて。一生モノの役立つスキルが獲得できます。

国際コミュニティ学部
こすだ しょう
小須田 翔 先生
ご専門は政治学



展示コーナー・ミニ展示コーナー



『あなたの好きと出会う場所』というテーマで、新入生向けの展示をしました。新生活、学び、そして新しい出会いにつながる資料を選びました。



ミニ展示コーナー 「G7広島サミット」

2023年5月19日(金)～21日(日)にかけて行われた「G7広島サミット」に関する資料を展示しました。G7の国々や、世界経済・国際社会・文化に関する資料を集めました。

チェコ関連本の展示

6月14日(水)、チェコ共和国のデジタル化担当副首相イヴァン・バルトシュ氏、駐日チェコ共和国大使マルチン・トムチョ氏をはじめとする政府関係者等約30名が本学に来学されました。それに伴いチェコ関連の資料の展示を行いました。また、イヴァン・バルトシュ氏より、チェコ共和国に関する資料を賜りました。



ピア・サポーター展示コーナー



5～6月は「花」をテーマに展示を行いました。緑が成長する季節にぴったりな、彩り豊かな花々を楽しめる数々の資料を選びました。



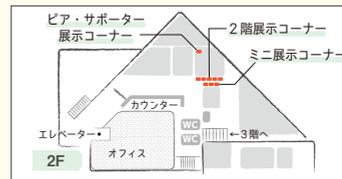
6～8月は「海と山」のテーマで展示を行いました。それぞれの場所で親しみを持っていただき、新たな発見が見つかるような資料を選びました。



ピア・サポーター

図書館2階・各展示コーナーのご案内

2階展示コーナー、ミニ展示コーナー、ピア・サポーター展示コーナーは年に数回展示替えをしています。
貸出は学内者限定です。
これからも様々な展示をする予定ですので、図書館にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



本に囲まれて過ごしてきた時間

学長
矢野 泉



紙の本に囲まれるのが好きである。図書館、研究室、書店、古本屋等々、子どもの頃から現在まで、本に囲まれていると幸せを感じる。

小学生の頃のわくわくした場所の1つは、近所の貸本屋であった。四畳半ほどの狭い店内に、週刊、月刊のあらゆる漫画雑誌やコミックスが、天井まで並んでいた。20円で（高学年の時には40円に値上がりしていたが）、新刊は3日間、既刊は1週間も借りることができる貸本屋は夢の国であった。20円でお菓子を買っても食べるとすぐその幸せは終わる。コミックスを自分で買うと300円が瞬時になくなる。限られたお小遣いを手に握り、貸本屋の棚を眺め（立ち読みをすると貸本屋のおじさんに怒られた）、何を借りようか思案する時間と、借りた漫画を繰り返し読みながら過ごす数日間が幼い私の幸せな時間であった。

実家のお気に入りの場所も、本棚が置かれた狭い廊下であった。小学生の頃の愛読書は小学館の『少女少女世界の名作文学』である。親戚からのおさ

がりの古本だったが、「十五少年漂流記」「海底二万里」等の冒険物を繰り返し読んだ。高学年の頃、新たな愛読書が家にやってきた。同居の祖母が購入した『大日本百科事典』である。当時、相当高額であった全巻セットの購入をめぐり、無駄遣いか否かと大人たちが言い争っていたのを覚えている。インターネットがなかった時代、知らない言葉、大人が言葉を濁して説明してくれないこと等、『大日本百科事典』は多くのことを教えてくれた。無駄遣いではなかったと亡き祖母に伝えたい。

学校の図書室は、まさに自分の居場所だった。学校ではどちらかといえば一人で過ごすことの方が好きだった。小学生の時、休憩時間に教室に一人していると先生に心配されるが、図書室で一人静かに本を読んでいると誰も何も言わなかった。いいところだと思った。小、中学生の頃は、ルブラン、ドイル、横溝等、もっぱら推理小説ばかり読んでいた。高校生の時、留学のため1年間休学し帰国後1つ下の学年に入るようになった。

友人もおらず、周りから気を使われるのもおっくうだったので、さらに図書室に入り浸り、相変わらず推理小説を読むか、美術の図版や地図を眺めていた。司書の先生ともよく話し、放課後司書室でこっそりコーヒーをごちそうになりながら人生相談にもなっていた。高2の時、図書委員長になったこともあり、暇さえあれば棚の整理や図書の修復をしていたような気がする。毎日、全ての図書が請求記号順に並んでいるかを確認して、すっきりした気持ちで下校することが日課にもなった。

大人になり、大学教員となってよかったことの1つは、職場に図書室があることである。最近が必要時にしか図書室を訪れることができていないが、大雑把な目的だけをもって並んだ本の背表紙をみながら思いがけない本との出会いを楽しむ時間が、創造的な作業にとっても重要であると感じている。さらに、職業柄国内外の図書館を利用するが、中にはデータ上存在していてもデータ通りの場所がないといった残念な管理

状況の図書館も少なくない中、本学の図書館はどんなに古い資料であっても事前に検索した情報どおりの場所で目的とする資料が必ずみつきり気持ちが良い。整理の行き届いた資料に囲まれ一人で思索をめぐらす絶好の場所が近くにあることはありがたい。

ふと考えると、インターネットでも本との出会いはある。が、幸せを感じることはあまりない。インターネットは自分の世界にいるようで、結局は口コミや言っぱなしの意見等心をざわつかせる他人の意識に常に取り囲まれている。一方、紙の本に囲まれて過ごす時間は、多くの情報に囲まれながらも、誰にも邪魔されず、自分のペースで情報を取捨選択し、自分と向き合うことができる時間である。自分はそういう時間に育てられてきたと、エッセイ執筆の機会を得て改めてその大切さを感じる事ができた。感謝である。

新たな出会いのきっかけに

図書館
さくらい ゆうか
櫻井 祐花

みなさんにはどんな趣味がありますか？私には写真、お菓子作り、美味しいもの探し、観劇、旅行など、好きなことがいっぱいあります。そのほとんどの知識や情報をインターネットやSNSから取り入れ、楽しんできました。スマートフォンやパソコンで調べれば必要な情報が素早く・簡単に手に入るこの時代において、「本で調べてみよう」なんて選択肢は正直言ってほとんどなかったのです。当然のことながら、図書館を最後に利用したのは何年も前で、学生時代に課題をするために必要だから仕方なく、といった程度です。実際、私と同じような人が多いのではないのでしょうか？

こんな私が昨年度図書課に配属となり、入職して初めて修大図書館を利用するようになりました。ありきたりな言葉でしか言い表せませんが、うちの図書館は素晴らしいです。明るく綺麗で、蔵書数も多く、何気なく本棚に並ぶ背表紙を見て回るだけでワクワクしてきて、「ちょっと本を読んでみようかな」という気持ちになります。他大学の図書館を知る先生方が学生達に「うちの図書館はすごいんだよ」と伝えている場面を、この

1年半の間だけで何度も見てきました。「そんなにすごい図書館を利用しないのはもったいないな」と思い、気が向いたら仕事終わりに本を見て回るようになりました。

ここで最初的话题に戻ります。私にはたくさんの趣味があるにも関わらず、美術館に足を運んだことはほとんどありませんでしたが、本との出会いで美術館巡りという新たな趣味が増えました。ふらりと本を見て回っていた時、気になる絵画の本に出会ったことがきっかけです。読み進めていくうちに、「この画家の絵、好きだな」という気持ちから他の作品も見てみたくなり、気づけば遠方の美術館に行くまでになりました。新しい趣味との出会いからだんだんと活動的になり、生活が良い方向に少しずつ変わっていききました。好きなものが増えたことで得られる良い変化は、自分の人生が豊かになっていく気がして嬉しいものです。

インターネットやSNSで調べることも良いですが、自分で思いつくキーワードには限りがあります。また、検索上位のものだけを確認したり、自分に合ったおすすめ記事が表示されたりと、だんだん



と偏った情報だけに埋もれていきます。そんなときは、思いがけないところから自分を変えてくれる本との出会いを見つ

けてみませんか？新たな出会いに期待して、ちょっと空いた時間にも、図書館に遊びに来てみてくださいね。

—私の出会いと好きなものをご紹介します—



『色から読み解く日本画』

三戸信惠著 / エクスナレッジ
請求記号：721/Mi62

私が美術館巡りにハマるきっかけになった本。赤・青・黄…と色ごとに日本画が取り上げられ、絵画や画家の背景などの解説がついていて、どれも大変興味深いです。広島県出身の画家である、奥田元宋も取り上げられています。好きな色や気になる色から、お気に入りの絵画や画家が見つかるかもしれません。



『“好き”を切り取る Photoli の写真帖

—カメラと深める #私の世界の写し方—

Photoli 著 / インプレス

カメラの基本から撮るコツ、フォトスポットなどをイラストや写真を使って分かりやすく教えてくれる本。「F値って何？」な初心者から、「いつもと違う構図や撮り方のヒントが知りたい！」といった写真が好きな方まで、いろんな人が楽しめます。e-bookなのでスマートフォンで簡単に読めますよ。

(※学内者限定。Alphaアカウントでのログインが必要となります。)

